



東 侯 野 9月号

東侯野小学校 学校だより 平成30年8月27日

夏休みを終えて

校長 村田 幹男

約40日間の夏休みが明け、子どもたちの元気な声が戻ってきました。

今年の夏休みは猛暑日が続き、熱中症が心配されました。特に7月末から8月初めにかけては、連日、環境省熱中症予防情報サイトによる暑さ指数が「嚴重警戒」レベルに達する状況でした。ちょうどこの時期にあった夏季水泳指導の際は、水分補給や休憩の時間を多くとるなどの配慮をしてすすめました。

ただ、残念ではありましたが、7月31日に予定していた「区水泳大会」は、戸塚区は区全体で「中止」の判断をいたしました。それは、大会前日の段階で、当日も予備日も、「嚴重警戒から危険レベル」という予報が出ていたこと、また、会場校への往復の時間も含め、水泳大会当日は各校で実施している夏季水泳指導よりも長い時間を要すること、これらを考慮しての決断です。練習に励み、大会を楽しみにしていた子たちには気の毒な結果となってしまいましたが、ご理解いただければと思います。

8月第1週の休日に毎年行っている、東侯野と影取の両子ども会主催の「親子工作教室」も、例年はピロティと体育館で行っていたのですが、今年は急きょ、冷房の効く教室で実施しました。

体温に近いような高気温の日を過ごさなければならない夏が当たり前の時代になってきました。今夏、小学生が校外学習後に熱中症が原因で死亡するという、いたましい事故が起こってしまったことは、学校現場でも衝撃です。毎年行っている活動は価値ある活動だからこそ続いているわけですが、暑い時期に行っている数々の活動については、熱中症予防という観点から、その実施のあり方について再考していきます。

<親子工作教室>



9月も各学年の行事が多い月です。ご家庭でも、睡眠時間をたっぷりとらせる、朝食をきちんととらせるなど、お子さんの体調管理をよろしくお願いします。

第1週目には夏休み作品展があります。ここでは、夏休みに一人ひとりが工夫して仕上げた作品が見られます。皆さんもぜひ参観にいらしてください。